

## 保護林へのシカ柵の設置にかかる対応状況について

近年のシカ生息域の拡大に伴い、関東森林管理局管内の保護林においても、シカによる森林被害が拡大している。

このため、令和6年度からは、シカによる食害が

- ①顕在化している保護林では、シカ柵内側の植生の回復及び保護
  - ②顕在化していない保護林では、柵内外の植生の比較によるシカ侵入状況の把握
- することを目的に、シカ柵の設置を開始したところ。

また、これらシカ柵の設置に当たっては、保護林へのアクセス、柵の設置・管理に関する実行体制、予算等を勘案し、小規模に試行的な対応から始めることが現実的と考えられたため、希少種生育箇所等に限定して、局所的な保全を主体に、小規模柵をパッチ状に設置する方法を採っている。

令和7年度の対応状況としては、8月末までに2つの保護林で柵の設置作業を終えており、年度末までには、計6つの保護林（食害が顕在化：5つ、顕在化していない：1つ）で柵の設置ができる見込み。

過年度の対応分を含めれば、合計8つの保護林でシカ柵の設置を進めたこととなり、今後も設置された柵の効果等を確認しながら、必要な対応を行っていく考え。

## 1 令和7年度の対応状況及び予定

## (1) 設置済（8月末時点）

## ア 増沢モミ希少個体群保護林（福島森林管理署）

- ・シカ被害が顕在化していない森林。
- ・令和7年6月 職員実行により植生保護柵設置（11m×11m）



写真1\_防護柵設置状況1



写真2\_防護柵設置状況2

イ 南房総モミ希少個体群保護林（千葉森林管理署）

- ・シカ被害が顕在化している森林。
- ・令和 7 年 6 月 第 2 保護柵設置（10m×10m 程度）



写真 3\_防護柵設置状況



写真 4\_防護柵内の稚樹の状況

(2) 設置予定

ア 花瓶山希少個体群保護林（茨城森林管理署）

直営で 20m×20m を 2 カ所程度設置予定（10 月中旬予定）

イ 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林

令和 7 年 9 月下旬以降に委託により防護柵新設予定。（延長 950m）

ウ 富士山峠塚ウラジロモミ希少個体群保護林

令和 7 年 10 月以降に保護柵追加設置予定（50m×50m 程度を 2 カ所設置）

エ 八丁池・皮子平生物群集保護林

令和 7 年 10 月以降に防護柵新設予定（10m×10m 程度）

2 過年度分を含めた対応状況

保護林名	森林管理署名	防護柵設置状況
奥鬼怒生物群集保護林	日光森林管理署	柵 1 R4 年度に延長 28m の柵を設置 柵 2 R4 年度に延長 40m の柵を設置 柵 3 R5 年度に延長 81m の柵を設置 柵 4 R5 年度に延長 16m の柵を設置 柵 5 R6 年度に延長 137m の柵を設置 柵 6 R6 年度に延長 100m の柵を設置
南房総モミ希少個体群保護林	千葉森林管理署	R6.7 に 10m×10m の第 1 保護柵設置
元清澄山ツガ・ヒメコマツ遺 伝資源希少個体群保護林	千葉森林管理署	R6.12 に 1m×1m の柵を幼樹 1 本、稚樹 2 本の計 3 カ所で設置

※奥鬼怒生物群集保護林については、R4 年度から環境省、栃木県、日光市等と協力して実施。

※他機関による設置状況は調査中